

「去豆の折絶こずのおりたえ周辺の 古代史とジオ」

平田市街から日本海側の小津浦に続く
山塊の切れ目「去豆折絶」の講演と探訪会！



2019年 **12月8日** **日**

◎会場 / 国富コミュニティセンター

◎時間 / 講演会〈10:00~11:45〉

探訪会〈12:40~16:00〉 ※探訪会のみ
募集はありません。

A	講演会と探訪会 両方参加の方	■定員 35名 〈参加料〉100円 (保険料)	集合場所 島根大学 (集合9:00/解散17:00) 国富コミセン (集合10:00/解散16:00) <small>※昼食は各自持参。歩きやすい服装でご参加ください。</small>	■申込締切 12/2(月) 〈先着順〉
	B	講演会のみ 参加の方	■定員 100名 〈参加料〉無料	

講演会 各分野の専門家が、「去豆折絶」についてさまざまな角度から迫ります！

- ① ジオから見た「島根半島」と「去豆折絶」について
島根大学教授 入月 俊明 氏
- ② 『出雲国風土記』と『古代遺跡』から見た「去豆折絶」について
荒神谷博物館企画員 穴道 年弘 氏
- ③ 中世・近世の歴史と文化から「去豆折絶」について
鱈淵コミュニティセンター長 高橋 一夫 氏

探訪会 島根大学のバスと徒歩で巡ります。*風土記・遺跡・地学等の専門家のガイド付！

国富コミセン (12:40) → ①中村1号墳 → ②宇賀神社 → ③意保美神社 → ④十六島の牛切層 →
⑤許豆神社 → ⑥十六島風車公園 → 国富コミセン (16:00) → 島根大学 (17:00)

〔主催〕風土記を訪ねる会・島根大学ジオパークプロジェクトセンター
〔共 催〕出雲縁結び街道振興協議会 (国富・西田・鱈淵・北浜 コミュニティセンター)、
島根半島・穴道湖中海ジオパーク (国引き) 推進協議会
〔後 援〕島根県地学会

お申込み・詳細は
裏面をご覧ください。

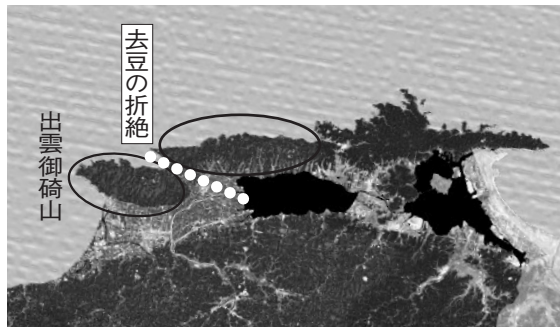
こずのおりたえ

「去豆の折絶周辺の古代史とジオ」

「ジオ」は「地球」や「大地」という意味で、ジオパークでは、ツアーなどを通じて私たちが住む地域や地球のことを楽しみながら学ぶことができます。松江市・出雲市をエリアとする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」では、貴重な地形地質遺産と、その上に根付いた「出雲文化」のつながりを感じることができます。

島根大学ジオパークプロジェクトセンターは、定期的にこのジオパークの現地探訪会やシンポジウムを実施し、地域の皆様とこの地の魅力を再発見する機会を設けています。また、風土記を訪ねる会は、『出雲国風土記』にゆかりのある地の研究や保全・顕彰などを続けています。今回、共同で「去豆の折絶周辺の古代史とジオ」と題した講演会と探訪会を行います。

733年に成立の『出雲国風土記』（唯一ほぼ完本の形で残る）の初めは「くにびき神話」から始まります。この神話の中で、朝鮮半島から神が引いてきた出雲御碕山が右の図の左側の山塊です。次に引いてきたのが右側の山塊です。その切れ目を「去豆の折絶」といいます。ジオの視点から見ると、地層は「去豆の折絶」で大きく曲がって谷型になり、山塊との間には断層も発達し、「去豆の折絶」周辺地域は特異な地形と地質を示す場所です。『出雲国風土記』の視点から見ても、この地域には神話にまつわる神社や多くの古代遺跡が存在する興味深い場所の一つです。



この機会に講演会で異なる視点に基づいた「去豆の折絶」に関するお話を聞いて、『出雲国風土記』に関連した神社や遺跡、特異な地形や1500万年前の地質を見て歩く、ドキドキ・ワクワクの探訪会に参加してみませんか。

お申込み方法

参加希望の方は、参加者の氏名（ふりがな）・住所・連絡先（電話番号・FAX番号・E-mailアドレス）を明記の上、下の宛先に郵便・FAX・E-mailのいずれかでお申込ください。下の参加申込書もご利用いただけます。

- A. 講演会と探訪会、両方参加 ◎定員：35名 ◎参加費：100円（保険代）
- B. 講演会のみ参加 ◎定員：100名 ◎参加費：無料

◎申込締切：12月2日（月）必着〈先着順〉

お問い合わせ・お申込み先

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学 教育学部 自然環境教育専攻 辻本 彰
TEL&FAX 0852-32-9876 E-mail tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp

参加申込書

※AかB、Aの場合は①か②に○印をつけてください。

ふりがな

氏名

住所

TEL

FAX

E-mail

A 講演会と探訪会、両方参加
(集合場所) ① 島根大学 ② 国富コミセン

B 講演会のみ参加